アーバンデータチャレンジ2022

和歌山ローカルナレッジ

《様々な活動主体による地域情報化》 地域を知り、共有すれば、心が動く。

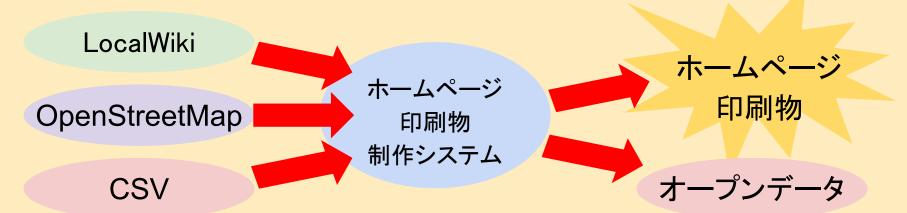
> UDC和歌山実行委員会 上仲 輝幸 株式会社 紀伊民報 マルチメディア事業部

> > 〒646-8660 和歌山県田辺市秋津町100 TEL 0739-26-7171 FAX 0739-81-7181

> > > e-mail:t-kmnk@agara.co.jp

和歌山ローカルナレッジとは

- ●オープンデータやデータベースを活用した地域学習とデータ作成、和歌山大学がきっかけで広がった LocalWikiやOSMを活用した、マッピングパーティーなどシビックテックの活動。
- ●自治体や学校、さまざまな組織や企業、住民などが連携して、地域の歴史や文化、地理、産業、 観光資源などを集約し、共有財産とする。
- ●紀伊民報のシステム「eメイド」を通してオープンデータの公開、WEBサイトや印刷物で見える化。 ソーシャルメディアなどを活用し、情報流通の促進をする。
- ●さまざまな立場や多世代との交流活動を通じて、情報を共有し、地域課題の解決に取り組み、昔を知り、 今に合った地域コミュニティーの再構築が最大の目的。



ホームページ更新システム「eメイド」

- ●eメイドは、ホームページや印刷物を制作する紀伊民報のシステム。
- ●さまざまAPIのサービスや、CSVからもインプットとアウトプットが可能。

和歌山ローカルナレッジでは、下記を活用して、情報流通の促進を図る

- ●LocalWikiからAPIで情報を取得し、WEBサイトや印刷物を生成する仕組み
- ●CSVデータから、WEBサイトを生成する仕組み
- ●WEBページの生成や、入力した情報をCSVで出力できる情報共有システム

「Kiiminpo OpenData Project」の活用。

CC BYライセンス (二次利用、再配布が自由)



「和歌山ローカルナレッジ」の目的

地域課題の解決という共通の目的があっても、それぞれの状況や立場によって、



みんなで取り組みオープンデータにすることで、それぞれの目的を達成

【活動内容】

串本古座高校CGS部は、近隣の町内会から、防犯灯の管理が高齢化で困難になったと相談を受けた。防犯灯の場所などのオープンデータ化とデータを活用した管理方法についてのアイデアソンを実施。

本活動の成果は、紀伊民報が開発したシステムを使って ウェブサイトで公開し、UDC提出作品とする。

【目的】

串本古座高校が位置する串本町の堀笠島地区では、防犯灯等の位置を示す図を作り直すこととなり、その確認と点検の依頼があった。そこで、防犯灯・避難誘導灯などの活用方法を知ることと、地域の方との町歩きで歴史や文化等を知る機会を得ること、また、防犯灯等をオープンデータ化してデータを

管理する簡易な方法を考えることで、地域を支援するというCGS部の理念と一致すると考え、活動を実施した。 高齢化が進む地域の実情の理解とその解決の一助となることも目的の一つである。



【開催日時·場所】

第1回フィールドワーク(2022.8/31) 第2回フィールドワーク(2023.1/05) 第2回については、午前フィールドワーク・午後打ち込み作業

【主催·協力】

主催: 串本古座高等学校CGS部

協力: 堀笠島地区 東区長

堀笠島地区 松本副区長 堀笠島地区 出嶋会計

【参加者数】

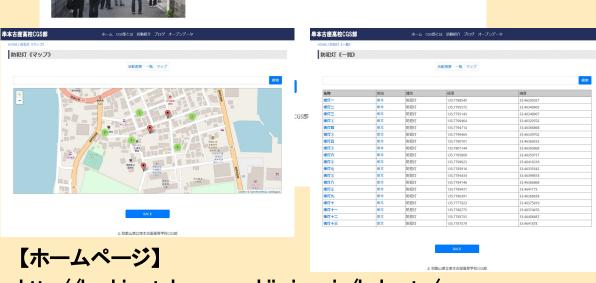
第1回フィールドワーク 生徒:12人、教員:6人、協力者:3人 第2回フィールドワーク 生徒:4人、教員:4人、協力者:2人

【ホームページ】

http://kushimotokoza-cgs.kiiminpo.jp/bohanto/

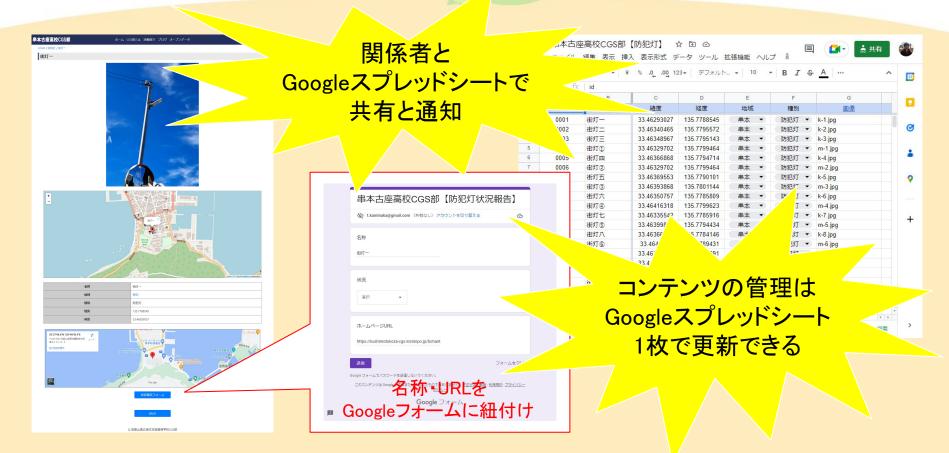








http://kushimotokoza-cgs.kiiminpo.jp/bohanto/



学習成果を発表する場「みんなの学習ひろば」

基幹となるデータベースは、生徒がパワーポイントのスライドや ワードの文書、ポスター(画像)などにまとめた資料を格納。 入力はエクセルやスプレッドシートで行い、学校や学年、クラス 単位で大量の情報を一括で管理することができる。情報の修正 や削除も、シート上で行い、アップロードするだけなので簡単。 入力に当たって都道府県名、年度、学校名、カテゴリなどを 付記することで検索を容易する。 全国の小中高校で登録が可能。 登録された情報はオープンデータで 公開するので、誰でもご自由に、 ウェブページに埋め込み可能。



学習の成果は 紀伊民報が管理する ウェブサイトに登録! オープンデータとして公開

和歌山ローカルナレッジが考えるシビックテック

- ●人と情報をつなぐ
- ●情報と情報をつなぐ
 - ●人と人をつなぐ

情報を共有すれば、心が動く

和歌山ローカルナレッジが考えるシビックテックは、 技術の前に「つなぐ」がスタートライン。